

碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
 神奈川 碩 心 会 発行

12年 1月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区 (合計)	会員数 131名 183名 31名 345名	12年 1月 (330号) 発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
--	------------------------------------	---

平成12年度 碩心会行事予定

- 碩心会初吟会
 日 時・1月9日(日) 10時より
 場 所・逗子会館 終了
- 春季審査会
 日 時・3月20日(祭)
 場 所・逗子図書館ホール
- 皆伝会
 日 時・5月5日(祭)
 場 所・逗子会館
- 碩心会総会
 日 時・6月4日(日)
 場 所・逗子図書館講座室
- 碩心会温習会
 日 時・6月18日(日)
 場 所・逗子図書館ホール
- 夏季吟道講座
 日 時・7月9日(日)
 場 所・逗子図書館ホール
- 秋季審査会
 日 時・9月10日(日)
 場 所・逗子図書館ホール

- 地区温習会
 日 時・11月26日(日)
 場 所・葉山文化会館

県本部行事予定

- 県本部初理事会 1月30日(日)
 横須賀商工労働センター
- 高段者審査会 2月12日(土)
 平塚農業会館
- 高段者審査会 2月19日(土)
 平塚農業会館
- 青少年育成の日 3月26日(日)
 平塚農業会館
- 県本部総伝会 4月16日(日) 11時より
 藤沢第一展示ホール
- 年齢別吟詠大会実施要項の一部について、
 左記の通り変更になりました。
 参加希望者多数のため、2回に分けて実施
 第一回 5月21日(日) 9時〜17時
 第二回 6月4日(日) 9時〜17時
 会場・地球市民かなざわプラザ
 出吟申込 自由出吟 40名の制限取消し
 出吟料 一名 千五百円を二千円に変更
 以上一部変更について、
 詳細問い合わせは・総務部長 松井正岳迄
 申込又切り ・2月15日

○第8回神奈川地区吟道大会

6月25日(日)

海老名市文化会館

○第9回神奈川地区青少年吟道大会

7月16日(日)或は7月20日(日)

○神奈川県本部指導者吟道講座

8月6日(日)

エポックなかはら

○高段者吟法講座

9月

○第6回全国優秀吟者神奈川地区予選会

9月17日(日)

○第11回全国吟道大会 (九州、福岡)

10月14日(土)出発 三泊四日

10月15日(日)大会 17日帰着

○総伝会親睦吟詠大会

11月26日 27日 一泊

場所未定



新年を迎えて

碩心会会長 千葉 岳 関

新年おめでとうございます。

ご家族お揃いで新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、何かと行事が多く皆様に大変ご苦勞をおかけしました。深く感謝しお礼申し上げます。

さて、本年も大きい行事を沢山控えております。役員を始めとして会員ご一同の協力を偏えにお願いいたします。

「一年の計は元旦にあり」と申しますが、先ず三点をあげて年頭の所信といたします。

第一点 健康に特段の留意をすること。

第二点 本年こそ岳風流吟詠の真髓を把握すべく努力すること。(吟心吟技ともに)

第三点 同好の士を可能な限り誘い(元会

員を含む)増強拡大の実績をあげたいこと。

最後に私ごとですが、本年の会運営の基本理念として次の先覚の言を参考としたい所存であります。

「目を以って見る勿れ、須らく心を以って見るべし」

「耳を以って聞く勿れ、須らく心を以って聞くべし」

「口を以って言う勿れ、須らく心を以って言うべし」

新千年紀を迎えて

副会長 加藤 岳 洵

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはご家族共に、二千年の輝やかしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も会員の方々には健康にご留意され、

辰年に昇竜の勢いで吟道に精進されますと共に、碩心会の発展に何卒お力添えをいただきますようお願いする次第です。

〃吟道は氣を養うの道なり〃お互いに吟道を通じて人格を磨き、有意義な一年にしようではありませんか。

次のようなヒンズー教の教えがあります。

「人生を変えるには、先ず心を変えなさい。心が変われば態度が変わってくる。態度が変われば行動が変わってくる。行動が変われば

習慣が変わってくる。習慣が変われば人格が変わってくる。人格が変われば運命が変わり、

運命が変われば人生が変わる」。

健康で良い人生を送れるように、今年も頑張ります。

心気一新して吟道に精進を

副会長 中村 岳 愛

明けましておめでとうございます。

皆様も御家族揃って、お正月料理を囲み、お屠蘇をいただき、よいお正月を迎えられたことと、心からお喜び申し上げます。私達日本人が、長い年月をかけて、親から子へと伝えられてきた家庭行事の中で、今も一番大切にされ、生まれ、そして楽しいのがお正月行事ではないでしょうか。

ところで今年には西暦二千年という節目の年を迎えました。ここで心気一新して、まず健康第一、そして和を以って、楽しく今年も吟道に精進いたしましょう。

謹みて新年の御祝詞を

申し上げます。

指導者一同

新年を迎えて思う

副会長 松井 正 岳

新年明けましてお目出度うございます。

傾心会会員の皆様がご家族と共に、新しい年をお元気に迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

我々が西暦二千年の輝かしい年に生を授かっていることの素晴らしさ、この巡り合わせを私は不思議な幸運にさえ思います。重ねて私達の歴史ある傾心会も今年で創立六十三年となり、創設者並びに先輩の先生方のご苦勞を思い、歴史を感じている次第です。

常々、懸案となっている会員の減少が流派を問わず全国的な現象といわれていますが、この輝かしい年を契機に皆様と共に会員の増強に取り組もうではありませんか、そして二千年を素晴らしい年にしようではありませんか！

今年もどうぞよろしく

お願い申し上げます。

傾心会初吟会を担当して

幸和支部 黒田 慶 山

20世紀最後の新年を迎えた1月9日(日)の明るい日差しが海に輝く暖かい日。恒例の初吟会が逗子会館で行われました。担当の真澄、桜山、沼間支部の先輩方と一緒にお手伝いさせていただきました。

当日は森晴岳責任者指揮のもと、手際よく配膳することが出来、これも企画部の周到な準備のお陰様と感謝です。定刻10時に式典が始まり滞りなく一部を終了しました。

食事をはさんでの二部では、参加賞を手渡す係です。余興とはいえ、出演者の方々は直前迄ステップの練習や音合わせなど入念なチェックをされていました。こうして作り出される各支部の趣向をこらした演しものには、いつも感心させられます。今年も盛り沢山の内容で会場が湧き、大いに楽しんだ懇親会も4時でお開きとなりました。

初めて担当した初吟会を無事終えた安堵感を味わいつつ、心新たに吟道精進と人の和を思いを馳せた一日でした。

総伝を載いて

逗子B 磯村 岳 朋

神奈川県本部創立45周年記念の年に総伝を載けて大変光栄です。

詩吟を始めた全てのきつかけは母の井上尚岳でした。途中で何度も挫折しかかりその度に母に叱咤激励され、良きライバルでもあり素晴らしい理解者でした。査定の前など会ってはその母も今は故人になってしまいました。その母も今一番喜んで大騒ぎしてくれていると思います。

三井岳龍先生や村田岳瀨先生は勿論ですが、その他数々の方に育まれ、この度千葉岳関会長の推薦により総伝を載けて、永く続けていて良かったとしみじみ感じます。才能のない私なので先生方には御苦勞を掛けておりますが、これからも周りに迷惑を掛けながらも恩師に一步でも近付きたいと思っております。

総伝の許証を手にして益々その重さを実感しました。初心に戻り此処から始まりです。

これからも尚一層、厳しくも温かくお導き下さるようお願いいたします。

各支部教場指導者 (逗子)

逗子A	本部教場	千葉 岳 関
逗子A	松井教場	松井 正 岳
逗子A	川瀬教場	川瀬 弘 岳 植村 成 風
逗子B		村田 岳 瀨
桜山		鈴木 岳 抄
沼間		清水 岳 耀
真澄	村田 岳 瀨	水上 昌 岳
若葉		立澤 御 岳
悠吟		千葉 岳 関
幸和		西川 幸 岳
逗子地区会員数		1 3 1 名

葉山地区と大船地区は次号より、追って掲載いたします。

手塩にかける

ある講話の中に、親が子を大切に育てることを「手塩にかける」とありました。

この手塩、元来は食膳に塩を盛った小皿があったことに由来するそうです。その小皿のことを今でも「おてしよ」といいますが、その塩を自分の手でつまんで、めいめいが好みの味つけをした。

そこから子育てに気を配ることの意味にもなったといえます。

辛すぎて、甘すぎてもいけないのが、手塩のコツ。

編集後記

二千年の新春を穏やかに迎えることが叶いご同慶の至りでございます。

暮にはミレニアムの不安もありましたが、無事に越年できました。戦争の世紀と言われた一九〇〇年代を振り返るとき、今の日本の平和が尊く、感謝と共に長く続くことを祈るばかりでございます。

初吟会は吟道に対する心構えを確認し、午後の演芸の部では大いに楽しいひとときを過ごしました。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

広報部一同